

令和３年度 林野公共事業事業評価有識者委員会 議事概要

- 1 開催日時 令和４年２月１７日（木） １０：００～１１：２０
- 2 開催方法 ＷＥＢ
- 3 出席者 委員：丸谷委員長、西村委員、庄子委員
局担当者：総務企画部長
森林整備第一課長、森林整備第一課企画係長
森林整備第二課長、森林整備第二課設計指導官
監査官、監査係長

4 議事

- (１) 森林整備事業（事前評価２件）について

5 議事概要

(森林整備第一課企画係長から説明)

(委員)

新規採択チェックリストのⅡ優先配慮事項 ３事業の実施環境等 (２)において、今年度林野庁からの通知の改正により「地域材」という表現を「木材」に変更した理由はなにか。

(局)

各都道府県、各森林管理局の実態として、流通状況から地域材の利用が難しい地域もあるとの意見があり、この項目については、農林水産省としての木材利用の取組を踏まえたものであると考えるので、他事業のチェックリストを含め地域材に拘ることなく「地域材」という表現を「木材」に変更した。

(委員)

森林環境保全整備事業の新規採択チェックリストの、「Ⅱ優先配慮事項 ３事業の実施環境等(３)効果的な事業の推進 ③被害地等の早期復旧」について、他の項目では、Ａが最も優れている評価となっているが、本項目でＡが最も劣っている評価である。その意図はなにか。

(局)

事業実施の優先配慮という面では、 $A > B > C$ の状況の順に、優先度が高くなる可能性があるとの考えから設定されている。

(委員)

森林環境保全整備事業の新規採択チェックリストの「Ⅱ 優先配慮事項 1 有効性 (2) 山村の活性化」について、多段階評価判定に当たっての留意事項において、Aの「山村地域への定住の促進に寄与する」こととして4点、Bの「山村生活基盤の向上に寄与する」こととして4点示されている。AとBの扱いについて、①AかつB、②Aのみ、③Bのみといったことが出てきた場合、①、②はA、③はBということでよいか。また、今回の判定では、国勢調査の結果、林業就業者数の増加が無かったことから定住の促進とまでは言えず、B判定としているが、事業を行い、雇用を生むことは就業機会を増やし、定住の促進に寄与するともいえるのではないか。

(局)

AとBの扱いについては、そのとおりである。定住の促進の判断については他局等の評価理由を情報収集して今後検討したい。なお、昨年度の他局の事前評価において、当該項目は全てB評価となっている。

(委員)

新規採択チェックリストにおいて、「コストの縮減効果の発現が期待できる計画である。」と評価されているが、具体的にどのようなコスト縮減を行う計画なのか。

(局)

留萌森林計画区では、路網整備では、今後の森林施業の優先度を勘案して計画している。また、高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムや伐採や造林の一貫作業を計画していることから、コスト縮減効果の発現が期待できるとしている。

(委員)

複層林造成、天Ⅰの施業とはどのようなものであるか。また、森林計画区ごとにそれらの施業面積に違いがあるのはどのような要因があるのか。

(局)

複層林造成は複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する目的で行っており、釧路根室森林計画区ではパイロットフォレストのカラマツ一斉林があるが、一部を伐採し複層林にしようと計画している。また、天Ⅰは地表処理、刈出し、植込み、まき付け等により更新を行うことであり、留萌森林計画区では気象条件が厳しく、また、ササ類の繁茂が旺盛であるため地表処理や植込みでの更新の計画もしている。

(委員)

路網整備の事業費は、どのように計上しているのか。

(局)

事前評価では測量までしておらず概算で計上しており、事業費に差がでる一番の要因は地域の林地傾斜や地形であり、急峻な傾斜や複雑な地形であれば事業費が増え、緩傾斜で平坦な地形であれば事業費が抑えられる。また、計画している路線線形に既設の作業道等があり事業費を省力化できたり、橋を架ける必要があり事業費がかかり増しになったりする場合もある。

(委員)

新規採択チェックリストにおいて、市町村の振興計画等との調整が図られていると評価したのは、釧路市や留萌市のHP上にある森林計画を確認したところ「国有林と連携を図る」旨の記載されていることから評価したと説明があったが、それ以外に市町村と連携した具体例はあるのか。

(局)

民有林と国有林とが連携して施業の集約化等の効率的な森林経営を行う森林共同施業団地の設定に当たり、市町村等と森林整備協定を締結して連携を図っている。また、事業評価の完了後の評価の際に、地元の森林管理署から市町村へ公文書により照会をしたご意見ご要望を踏まえて事前評価を行っている。

(委員)

地域関係者の理解を得るための意見交換会をしているという話がでたが、どのようなものなのか。

(局)

各地区の森林計画の樹立の前年度に北海道、市町村、事業体、及び希望する一般市民から、森林計画に対しての意見を聞く場を設けている。

(委員)

釧路根室森林計画区と留萌森林計画区の構成樹種の違いは何によるものであるのか。

(局)

釧路根室森林計画区はパイロットフォレストを代表するようにカラマツを植えていることからカラマツが多い地域である。留萌森林計画区は気象条件が厳しい地域であることから、郷土樹種であるトドマツを多く植えている。

以上